

第3回 新大宮上尾道路(与野～上尾南)景観検討会議 議事概要

1. 日 時：令和2年1月23日（木）15：00～17：00

2. 場 所：大宮国道事務所 第1会議室

3. 出席者

事業景観アドバイザー

深堀 清隆 埼玉大学大学院理工学研究科 環境科学・社会基盤部門准教授 [座長]

福井 恒明 法政大学デザイン工学部 都市環境デザイン工学科教授

吉田 慎悟 武蔵野美術大学造形学部 教授

委 員

田中 倫英 国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所長

高橋 三雅 首都高速道路(株) 東京西局プロジェクト本部長

狩生 正彦 さいたま市建設局土木部 広域道路推進室長

東 邦彦 上尾市都市整備部 都市計画課長

4. 議 事

(1) 挨拶

- ・大宮国道事務所長
- ・首都高速道路(株)東京西局プロジェクト本部長

(2) 議事

- ・高架橋の景観検討
- ・附属物の景観上の配慮方針
- ・色彩案の決定
- ・自治体の景観計画との整合
- ・イメージ図

<決定事項>

○桁の色彩は、区間内で変化するどのような景観特性にも馴染むものとして「グレイッシュベージュ（マンセル値 10YR 5.5/1.0）」とする。

○本検討区間の橋脚は、コンクリート橋脚と鋼製橋脚が混在し、T型、門型などの形状も混在することから、鋼製橋脚の色彩はコンクリートに近似し、桁と明度差が明確な「オフグレー（マンセル値 5Y 7.5/0.5）」とする。

<主な意見>

○都市地域と郊外地域の現地で色彩の検討を行った結果、上部工と下部工の明度差を2.0程度にし、圧迫感の軽減を図ることが望ましい。

○高架橋の美しさの源は「連続性」にあることから、異種構造の接続部等は、可能な限り滑らかに接続すべき。

<確認事項>

○決定した色彩案は、自治体の景観計画や色彩ガイドラインと整合していることを確認した。

○附属物整備の配慮方針として以下を確認した。

- ・高架橋としての連続性・デザインの一貫性を確保する。
- ・長期に亘る清潔感・維持管理性に配慮する。
- ・附属物による煩雑感の軽減に配慮する。
- ・すっきりとした道路内景観を確保するとともに、外への眺望や閉塞感の軽減に配慮する。

○フォトモンタージュ等によるイメージ図から、景観検討結果の妥当性を確認した。

○本日の会議でとりまとめた内容を今後の設計・施工に反映していくことを確認した。

以 上